

## Press Release

2024.4.20

### 日原聖子、平井晴香、前谷開、宮下さゆり

#### 「地下の」

2024年5月11日(土) - 6月9日(日) 11:00-19:00 月火祝 休廊

タリオンギャラリーでは、日原聖子、平井晴香、前谷開、宮下さゆりによる展覧会「地下の」を開催いたします。是非ともご覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

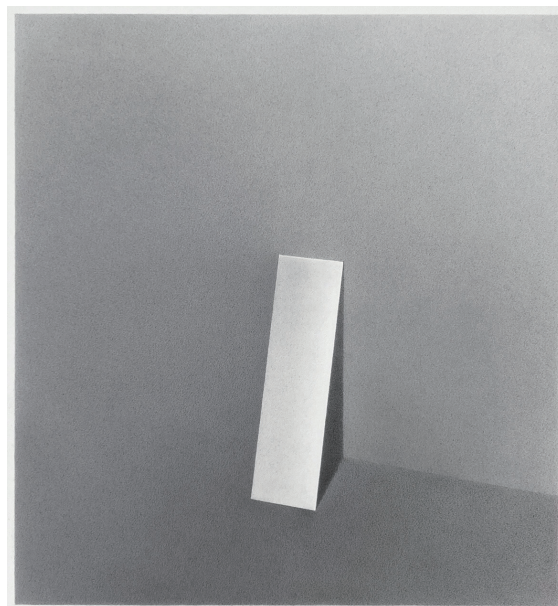
他者の存在を織り交ぜ留める手段として、糸や布、ドローイングを使った作品を制作する日原聖子は、人々との対話や関係性を制作の手がかりに、その営みの中の儀礼や共感のあり方に着目し、文化人類学やアクションアートの見地から考察を加え発表しています。

平井晴香は近年、本や切手などの紙片のかどを折り曲げることで生まれる図像をモチーフとして、コンポジションを放棄しながらイメージが生成されるという、コラージュ的思考を通して制作を行っています。半分に折れ曲がった形態の木製パネルなどを用いて、平面と空間、時間を含めた次元の中でコラージュの過程を再考しています。

前谷開は集団的同調に潜在する空隙のような場に身を置き、自身の行為と身体を跡付けるかのように自分自身を撮影する写真作品を制作してきました。本展では近年継続的に取り組んでいる、風景と身体の関係についてセルフポートレイトの手法を応用したシリーズの新作を発表予定です。

細密な鉛筆の線を重ねて、光と影を一貫した主題として制作してきた宮下さゆりは、空間とその中に描かれる像、またそれを見る眼差しを自己言及的に描いています。そこに描かれるイメージは、画面の向こう側とこちら側を同時に指し示しながら、絵画という空間の生まれる条件を問いかけます。

本展「地下の」は、外光が届かない、あるいは遮断可能な場の特質とその表象を主題として開催されます。どうぞご期待ください。



宮下さゆり | 鏡 (頭の中の蛇) | 2023 | 紙に鉛筆 | 27×25cm

日原聖子 Seiko Hihara

2018 プラハ美術アカデミー 修了  
2019 - 東京藝術大学大学院美術研究科博士後期過程 在籍  
2022 -23 令和3年度 ポーラ美術振興財団在外研修員として  
チェコ共和国にて研修  
現在、東京を拠点に活動を行う。

#### 主な個展

2024 「Three Drawers」プラハ市営図書館、Artotéka（プラハ、チェコ）、  
共同制作：Karolína Chasáková, Jelena Kovačev  
2021 「Circle in red」駒込倉庫（東京 / 助成：公益財団法人小笠原敏晶  
記念財団）  
2020 「かりてきた糸 / Borrowed.」TS4312（東京）  
2018 「In Between」IDEÁL prostor gallery（プラハ）  
2017 「Paintings + drawings + embroideries + a small performance」  
Bakterie gallery（チェコ、イフラハ）  
2016 「Setkání/Meetings」Hidden gallery、ミール広場（プラハ）  
「Paintings and graphics,」cafe Mlynská（プラハ）

#### 主なグループ展

2024 アートの今・岡山 2023-2024「旅」華鶴大塚美術館(岡山)  
2023 アートの今・岡山 2023-2024「旅」勝央美術文学館(岡山)  
2023 「ART LOUNGE PROJECT #3」ルメテアデリン(岡山)  
2022 「Knit and Purl: From Oneself, around the Void and through it」  
Ústí nad Labem House of Arts(ウースチー・ナド・ラベム、チェコ)  
「いつかは世の中の傘」TALION GALLERY（東京）  
2021 ワークショップ/シンポジウム「Descendants of Fungi:  
NEUROPLASTICITY」Institute of Anxiety（チェコ）  
2020 「1GB」スパイラルホール(東京)  
2018 「Future Ready」Kampus Hybernska（プラハ）  
2017 「第4回 CAF 賞展」代官山ヒルサイドテラス(東京)  
「Halfway where」grey gallery（デン・ハーグ）  
「Š.A.L.O.U.N」シャロウン邸(プラハ)  
2016 「Black box」GAVU（プラハ）  
「The Studio of Restoration Attempts」シャロウン邸(プラハ）

#### 主な舞台美術・ワークショップ等

2024 舞台美術 asamicro ソロダンス公演「Like throwing a pass」  
ST スポット(神奈川)  
2023 舞台美術 egglife ダンス公演「海におはぎを投げる日」  
SCOOL(東京)  
舞台美術 egglife ダンス公演「海におはぎを投げる日」  
豊岡演劇祭 2023(兵庫)  
ワークショップ「旅に出す刺繍をほどこす」松島分校美術館(岡山)

#### 主な助成 / 受賞歴

2020 第13回岡山県新進美術育成「I 氏賞」奨励賞  
2018 「ヨゼフ・フラーフカ賞」(チェコ)  
2017-18 「チェコ政府給付奨学金」  
2017 「CAF 賞 2017」入選



暴力に反対するふりをする I | 2024 | 布、糸 | 27x29cm



個展「Three Drawers」プラハ市営図書館 Artotéka での展示風景  
2024 | 共同制作：Karolína Chasáková, Jelena Kovačev



Untitled (いろあつめ) | 2022  
紙、色鉛筆 | 撮影：木奥恵三



Untitled - Hommage to H.D., J.H. | 2021  
素材：毛糸、絹糸、フェルト、古着、綿糸  
制作協力：安達七佳、遠藤純一郎  
サイズ可変 | 撮影：森政俊

平井晴香 Haruka Hirai

1985 愛知県生まれ  
2008 愛知県立芸術大学美術学部美術科油画専攻卒業  
2010 東京藝術大学大学院美術研究科絵画専攻油画修了  
2014-16 カールスルーエ造形美術大学  
現在、ベルリンを拠点に制作を行う。

#### 主な個展

2022 「Mutual projection」Time & Style Amsterdam (アムステルダム)  
2021 「Fluid」Time & Style Amsterdam (アムステルダム)  
2018 「Pagination」Luis Leu (カールスルーエ)  
「Superimpose」Galerie Martin Mertens (ベルリン)  
2011 「紙の上の紙」florist\_gallery N (愛知)  
「近づくページ」ギャラリー安里 (愛知)

#### 主なグループ展

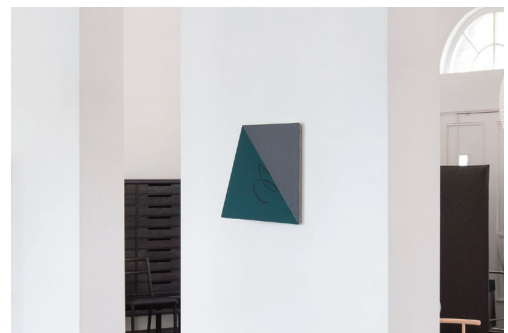
2019 「Chronicle」Projektraum (Kunstquartier Bethanien) (ベルリン)  
「fun with flowers」Orgelfabrik Durlach (カールスルーエ)  
2016 「Sommer Exhibition 2016」カールスルーエ造形美術大学内  
(カールスルーエ)  
2015 「JDJHH」Mucharaum カールスルーエ造形美術大学内  
(カールスルーエ)  
「Inner History」藍画廊(東京)  
2014 「母と父」TALION GALLERY (東京)  
2012 「アキバタマビ 21 特別展「大学絵画」」アキバタマビ 21 (東京)  
「第 11 回 群馬青年ビエンナーレ 2012」群馬県立近代美術館(群馬)  
「N 展」愛知県立芸術文化センター アートスペース X (愛知)  
「SCENE 2」Time & Style Midtown (東京)  
2011 「Outline 2」かぎやビル(静岡)  
2010 「アートアワードトーキョー丸の内 2010」行幸地下ギャラリー  
(東京)  
「桐生再演 16」ベーカリーカフェレンガ 旧金谷家住宅(群馬)  
2009 「現代芸術国際ワークショップ「現代芸術 DRAWING 展 - 景 -」」  
東京藝術大学大学美術館 陳列館(東京)  
「床下エレクトリック」現代 HEIGHTS Gallery Den(東京)  
「7 LAB.」東京藝術大学 学生会館 2F 展示室(東京)  
2007 「第 5 回 夢広場はるひ絵画ビエンナーレ」清須市はるひ美術館(愛知)

#### 主な受賞・助成

2022 公益財団法人野村財団 芸術文化助成  
2021 公益財団法人野村財団 芸術文化助成  
2017 文化庁 芸術家在外研修員(ベルリン)  
2014-16 DAAD(ドイツ学術振興会) 奨学生  
2009 ホルペイン・スカラシップ奨学生  
2007 第 5 回 夢広場はるひ絵画ビエンナーレ 奨励賞



High Line | 2022 | リネンと木にアクリル  
40×40×13.5cm



Corner painting 25 | 2022 | リネンと木にアクリル  
40×40×13.5cm



bookmark 14 | 2019 | 綿にアクリル  
100×100cm



個展 "Bookmark" 展示風景 | 2018 | Martin Mertens (ベルリン)



前谷開 Kai Maetani

- 1988 愛媛県生まれ  
2011 京都造形芸術大学芸術学部美術工芸学科 陶芸コース卒業  
2013 京都造形芸術大学大学院 芸術研究科表現専攻修了

主な個展

- 2024 「姿勢」ロームシアター京都 プロムナード北 (京都)  
2023 「À l' intérieur de Portrait de famille」パリ日本文化会館 (パリ)  
2022 「Scape」FINCH ARTS (京都)  
2021 「夜は昼、昼は夜を」Art Center Ongoing (東京)  
2019 「Kapsel」FINCH ARTS (京都)  
2018 「One Night Stand」渋谷 (東京)  
2016 「Drama research と自撮りの技術」Division (京都)

主なグループ展

- 2023 「ART SANPO 2023」(愛媛)  
「PUSH FOR CREATION」PILE -A collaborative studio- (神奈川)  
2022 「転覆する体 アート、ジェンダーとメディア」The 5th Floor (東京)  
「水路から柔い空へ」トーキョーアーツアンドスペースレジデンス  
2022 成果発表展」トーキョーアーツアンドスペース本郷 (東京)  
「SSK Art Fair Collaborated with 山中 suplex 「の、あとのふね」  
Super Studio Kitakagaya (大阪)  
2021 「TOKAS OPEN STUDIO 2021-2022/ December」Tokyo Arts and  
Space Residency (東京)  
「余の光 / Light of My World」旧銀鈴ビル (京都府)  
「船は岸に辿り着けるのか」TALION GALLERY (東京)  
「血の塩 / Salt of the Blood」LEESAYA (東京)  
「山中サマーソルトキック」MtK Contemporary Art (京都)  
2020 「Rollin' Rollin'」FINCH ARTS (京都)  
「類比的鏡 / The Analogical Mirrors」山中 suplex (滋賀)  
「大京都芸術祭 2020 in 京丹後」浅茂川区民会館 (京都)  
「SPR」FINCH ARTS (京都)  
「AT PAPER.11 出版記念展示」VOU/ 棒 (京都)  
2019 「大京都 2019 in 京丹後」吉村機業 (株) 旧織物工場 (京都)  
「かみこあにプロジェクト 2019」上小阿仁村八木沢公民館 (秋田)  
「2019 DMZ 大鵬号平和文化祭国際設置美術プロジェクト」  
大韓民国江原道華川郡数達研究センター (韓国)  
「六本木クロッシング 2019 展：つないでみる」森美術館 (東京)  
「群馬青年ビエンナーレ 2019」群馬県立近代美術館 (群馬)  
2016 「六甲ミーツ・アート 2016」六甲山高山植物園 (兵庫)

主な受賞歴

- 2016 "六甲ミーツ・アート 2016" 奨励賞  
2014 "KUAD graduates under 30 selected" パラ人 (PARASOPHIA フリー  
ペーパー) 賞、京都芸術センター アート・コーディネーター賞  
2013 "第36回 キヤノン写真新世紀 2013" 佳作



長い腕 | 2021 | インクジェットプリント



Burns on the Retina (Dear Cells) | 2020  
シングルチャンネル・ビデオプロジェクション  
7分 | パフォーマンス



Kapsel I, 2019 | C プリント・インクジェットプリント | サイズ可変  
「六本木クロッシング 2019 展：つないでみる」森美術館での展示風景  
撮影：木奥恵三



Kapsel 7102 | 2014 | C プリント | 50.8 x 61 cm

宮下さゆり Sayuri Miyashita

- 1988 長野県生まれ  
2011 武蔵野美術大学油絵学科卒業  
2013 武蔵野美術大学大学院造形研究科油絵コース修了

主な個展

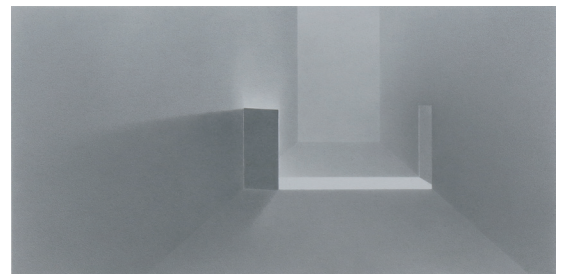
- 2019 「光、密室」 TALION GALLERY (東京)  
2018 「あなたはどこへ」 switch point (東京)  
2016 「視界のゆめ」 TALION GALLERY (東京)  
2014 「テーブルはステージになる」 TALION GALLERY (東京)

主なグループ展

- 2024 「異形の芽生え『奇病庭園』と川野芽生」代官山蔦屋書店 1号館 1階  
ブックフロア(東京)  
2021 「陰影のリビジョン」 TALION GALLERY(東京)  
2019 ART OSAKA 2019 (大坂)  
2018 ART OSAKA 2018 (大坂)  
2014 アートフェア東京 2014(東京)  
2013 「成熟と喪失」 TALION GALLERY(東京)  
「修了展」武蔵野美術大学(東京)  
2012 「似て非なるもの」 TALION GALLERY(東京)  
2011 「アウトレンジ 2011」文房堂ギャラリー(東京)



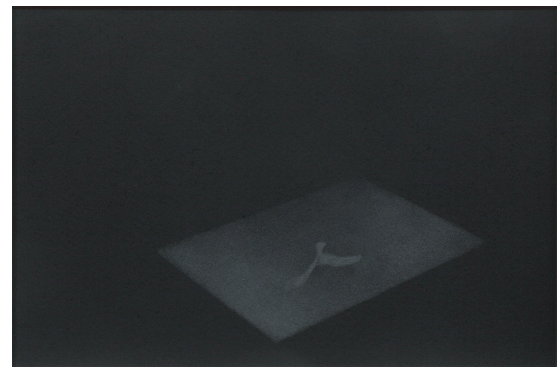
影際 | 2021  
アクリルガッシュ、鉛筆、紙 | 20×14.5cm



幕間 | 2019 | 紙に鉛筆 | 20×40cm



テーブルはステージになる no.26 | 2014 | 鉛筆、ボード  
36.6×44.6cm (frame size)



Presentation no. 1 | 2013 | アクリルガッシュ、鉛筆、紙 | 12×18cm

—  
本展覧会に関しまして貴誌・貴社にてご紹介いただけますと幸いです。掲載用写真の貸出、  
ご質問などございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

[ 展覧会概要 ]

展覧会名	地下の
アーティスト	日原聖子、平井晴香、前谷開、宮下さゆり
会期	2024年5月11日(土) - 6月9日(日) 11:00-19:00 定休日：月・火・祝日
会場	TALION GALLERY 東京都豊島区目白2-2-1 B1
企画	宮下さゆり、上田剛史 (TALION GALLERY ディレクター)

[ お問い合わせ ]

TALION GALLERY 広報担当

Email: [info@taliongallery.com](mailto:info@taliongallery.com) Tel/Fax: 03-5927-9858

171-0037 東京都豊島区目白2-2-1 B1 URL: [www.taliongallery.com](http://www.taliongallery.com)